

保健室だより

平成27年度第14号 千葉県立千葉南高校保健室

お届け物屋さんになつとくれ～

10月10日(土)にPTA理事会などがあり、保護者の方々と話す機会に恵まれました。その際に伺ったご要望は「学校の様子をもっと知りたい」ということでした。保護者の方にとっては本当にごもつともなことです。だからね、みんなに協力してほしいんだ。「今日学校でこんなことがあったよ」と少しでもいいから教えてあげてほしい。また、学校から配られたお手紙は、みんなが配達屋さんになって、お家の人にも見せてあげておくれ！この保健室だよりもちっちゃいものくらぶもね、お願い！

私の知ってるすごい人～第二弾～

前任校の放課後保健室お勉強クラブのチーム高橋のメンバーだった子が、1年間大学を休学して世界をボランティアして歩く旅に出ていることは、保健室だより第8号に書いたね。彼から最近の様子が届いた。まずはコスタリカから。

コスタリカという国はwell being indexでは世界第二位、地球幸福度ランキングではNo.1だそうだ。さて、それじゃ、日本の順位はどのくらいだと思う？幸福度ランキングはなんと92位だそうだ。コスタリカに比べたら、経済面や治安など、きっと外側の部分では日本はすごく恵まれているんだと思う。そんじゃ、なんでコスタリカ人は幸福感が高いのか…。この国の人にインタビューしたそうだ。その答え。

「私の国はとても面白い。幸福についてはライフスタイルだと思う。私は人生の楽しいこと、自分の大好きな事を選択する。例えば、健康的な生活を送ること、良い食生活、運動、音楽を聞く、新しい場所を訪れる、世界を旅する、すべての人を愛すること、人を助けること、これが私のライフスタイルだ。」

それじゃ、日本のランキングが下位ということについてどう思うか。「私は日本人が不幸せとは思わない。しかし、日本人は働きすぎだと思う。幸せかどうかは自分の環境次第ではない。それは人それぞれによるものだ。その人がどのように人生を送るかだ。何を決定するか、それが大切だと思う。」

彼のまとめによれば、人の幸福度は環境だけでは左右されない、自分がどのように考え、あらゆる選択肢から何を決定し実行するか、これが自らの幸福度に影響するんだということ。さらに、日本の働き方の常識は世界の非常識…。コスタリカ人から「日本人は働きすぎ」という言葉を聞き、彼は「またか」と思ったそうだ。彼がフィリピンにいた時にも同じことを言われたという。彼は旅の費用を捻出するため、フィットネスクラブ、結婚式場でバイトをした。その時の社員の働き方が10～12時間勤務が当たり前で、シフト通りの時間に帰宅した社員はほとんどいなかったという。多国籍の人たちと仕事をする場合、その国の仕事に対する概念をしっかりと理解する必要があるなと痛感したそうだ。

もし日本にいたら、幸福度も単なる読み物というだけで終わったことだろう。日本という枠から離れたことで、別の視点から物事を考えられたり、新たな発見があったと彼は感じた。

彼はこのほかにセブとキューバから情報を発信してくれた。
キューバの次はイタリアに渡り、ローマ、ベニスと移動し
多分今はケニア…かな。彼のブログの紹介許可を得たので、
右に記載します。

ブログ

「GAP YEAR 80分の1」

99561.blog.fc2.com/?pc

著者：Kaneyuki irie